

## 2019 年 第 1 回中国佛山第 3 中学校訪問の記録

期間：12 月 19 日(木)～12 月 24 日(火)

参加者：2 年生(73 回生)男子 2 名・女子 3 名、1 年生(74 回生)男子 1 名・女子 2 名 引率：2 名

場所：中国広東省佛山市 佛山第 3 中学校

宿泊：1 人 1 家庭のホームステイ

**12/19 (木)** 7 時関空集合。中国南方航空直行便で広州へ（4 時間のフライト）  
広州到着後、バスで佛山第 3 中学校へ。



ウェルカムセレモニーでホストファミリーとバディに対面。早速ユニフォームや贈り物をいただき、熱烈で盛大な歓迎を受けました。いよいよホームステイ開始です。



### 12/20 (金)

午前①：特別授業(日本人とホストのみ)は歴史。カンフーと京劇 Chinese opera を英語で紹介する授業。  
午前②：朝の運動。全校生徒 3000 人以上がクラス毎に、ジョギング 1200 メートル。グラウンドや中庭で音楽や掛け声に合わせて走る様子は圧巻。周回走で鍛えられた長田の生徒にとっては楽勝！？



午前③：佛山の歴史や文化、産業などを紹介する博物館を訪問しました。体験コーナーも充実して、見応えがありました。佛山は、中国政府が開発に大変力を注いでいる大都市であることを知りました。



食堂でホストと一緒に昼食。全寮制の学校のため、全員、食堂でバイキング形式の昼食を取ります。昼食後はバディ達とお菓子を食べながら休憩。みんなでゲームをして、大いに盛り上がりました。



午後①：ダンスルームで、扇子を使ったダンスの授業。音楽に合わせて優雅な舞を披露できました。



↑学校の掲示板

午後②：日本文化紹介。バディや佛山の生徒、スタッフの方々に、日本文化のプレゼンテーションをしました。まず、神戸や長田高校の紹介をして質問に答え、ラジオ体操（英語版）の説明と実演、日本についてのクイズ、折り紙と茶道の紹介と実演をしました。中国の生徒は日本のあらゆることに興味を示し、大変熱心に発表に耳を傾け、積極的に参加してくれました。



**12/21（土）、22（日）**ホストファミリーと休日を満喫。佛山や広州の名所巡り、陶芸体験（佛山は陶磁器で有名）、スポーツ、食べ歩き、伝統衣装着付体験、日本語教室、農業体験、将棋…などなど。







## 12/23 (月)

午前①②：高校一年生の英語の授業に参加。マイクやプロジェクターを駆使した、オールイングリッシュの素晴らしい授業でした。ウォームアップに日本のアニメイトロクイズを盛り込み、教科書の本文（ミュージシャンの話）を読んで、内容把握の活動をしました。1クラス 50 人が大変意欲的に授業に参加していました。授業を踏まえたアウトプットの活動で、米津玄師の歌を即興で披露する中国人生徒もいました。

午前③④：切り絵の授業とテニスの授業。学校の授業だけではなく、中国文化を体験する時間を沢山企画してくださって、有難い限りです。



午後：バスで「広州沙湾古镇」という、昔からの文化を残す古い町に出かけました。英語の先生 Willさんとツアーガイドさんに加え、佛山第 3 中学に留学中のラトビア人とルクセンブルク人学生も同行し



ました。祖先や神仏、有名人を祀る建物などの有形文化遺産、広東音楽や獅子舞などの無形文化遺産が伝わる場所だそうです。町には 800 年以上の歴史があり、現存する建物は明清時代から中華民国にかけてのものが多くあります。ガイドさんの説明には、世界史で習ったばかりのことが出てきたらしく、中国の歴史と伝統に触れる有意義な遠足になりました。



最後の夕食は、みんな一緒に広東料理をいただきました。広東料理は日本人の口に合う優しい味で、何を食べても美味しい！…そして、ホストファミリーと最後の夜を過ごしました。

**12/24 (火)** いよいよ帰国の日ですが、午前中は授業や体験がまだまだ盛り沢山です。

午前①：書道。赤い特別の紙にお手本に従って「福」の字を書きました。

午前②：音楽。オカリナの授業。自分で楽器を作り、何でも演奏できる先生が、オカリナの優しい音色や多種多様な演奏で楽しませてくれました。



午前③：化学か数学、どちらかの授業に参加。化学は海藻を熱してヨウ素を取り出す実験。

数学は、高校 1 年生で、長田の 2 年生が習っている箇所を学習していたそうです。つまり長田の数学の授業は佛山の 1 年遅れ…。佛山の生徒は本当に勉強熱心です！

午前④：機械工学(選択制)の授業で、3D プリンターやロボットの見学。こちらも日本の普通科の高校ではまず見られない設備でした。



他にも、プールは 50m が 10 レーンに加え、25m の温水プール 6 レーンもありました。学生寮は 10 人分の二段ベッドの部屋。洗濯は各自手洗いで、廊下には洗濯物がズラッと干してありました。朝 7 時半～夕方 5 時まで授業をして、夜は 10 時まで自習をするそうです。学習の施設、学生の意気込みや勉強量、全てに圧倒されました。



食堂で、ホストファミリーやバディ、ボランティアの生徒らを交えて、フェアウェルパーティーを開いていただきました。中国と日本の代表生徒が英語で挨拶して、ホストファミリーとお世話をしてくれた生徒らに感謝状が贈呈されました。学校から、引率と生徒一人一人に記念品の数々が贈呈されました。色んな人から沢山の贈り物をいただいて、持ちきれない状態で食堂を後にしました。



中国の皆さんが門の所まで見送って下さり、別れを惜しむあまり、なかなか前に進めませんでしたが、日本での再会を約束して、バスは出発しました。



沢山の荷物を手に、沢山の思い出と感謝の思いを胸に、広州白雲空港から関西国際空港に向けて出発。19 時 50 分、全員無事に日本に到着しました。お疲れ様でした。